



Rotary  第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会 長：田中進一郎
■幹 事：高橋 秀治
■会報委員長：近藤 俊也

事務所／〒484-0081 犬山市大字犬山字西畑 22-5
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／<http://www.inuyama-rc.org/> e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電 話／0568-61-2211 毎週火曜日／12：30～13：30

第2674回 例会 (H28. 11. 20日 晴れ※)

東尾張分区 I.M. 於：名鉄犬山ホテル

第1部 式典

司 会	片平博己 式典委員長
点 鐘	古田嘉且 尾張分区ガバナー補佐
齊 唱	君が代 奉仕の理想
開会のことば	安藤喜代司 IM 実行委員長



IM とは、Intercity Meeting：インターシティミーティングの頭文字で、近隣の都市の複数のクラブで実施する都市連合会のことです。グループ、分区単位でのクラブや、大都市の場合、その都市内の数クラブ

の会員が集まり、合同で行う自由討論会。ガバナー補佐が主催して開かれる事が多いようです。決議や決定はなく、IM への出席はメイクアップとなります。

その目的は、第一に会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えると共に、立派なロータリアンの養成にあります。そのため、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーの奉仕の理想を勉強する会合です。討論の主な内容は、5大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。クラブ会員、全員参加です。この会合の大切な目的は、会員相互の親睦と知識を広める事であって、さらに会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されます。

テーマは、ロータリーのこと、一般社会の事で、そのときに話題になっている事、考えなければならない問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。

歓迎のことば

伊藤靖祐 ホストクラブ会長

皆様 2016-2017 年度東尾張分区インターシティミーティングによるごそお越しくございました。ホストクラブを勤めさせて頂きます江南クラブの伊藤でございます。本日は服部ガバナー、神野ガバナーエレクト、分区内パストガバナーの皆様にもお越し頂き感謝申し

上げます。そして分区の 12 クラブの皆様からは 476 名の登録をいただきましたことを重ねて心よりお礼申し上げます。



さて、本 IM では 2012-2013 年度 RI 会長田中作次様をお迎えし、「世界のロータリーと奉仕」と題してご講演をいただきます。2016 規定審議会では”Meeting Flexibility”と

うたわれていますが、クラブの出席や例会について柔軟性を持たせる決議がされました。RI の表現は“take advantage of greater flexibility”とされています。これはこの決議を Negative に捉えるのではなく、Advantage として捉えてくださいということです。また、単なる柔軟性ではなくより卓越した柔軟性であるということです。その意味でロータリーは強い組織に変わろうとしているのです。ロータリーが変化しようとしているこの時にふさわしい田中作次様にご講演をいただくことはこの上ない幸せでございます。

今日は皆様とロータリーを語ればと思います。よろしく願い申し上げます。

来賓・特別出席者紹介並びに参加クラブ紹介

南村朋幸 ホストクラブ幹事

東尾張分区ガバナー補佐挨拶

古田嘉且 東尾張分区ガバナー補佐

国際ロータリー第 2760 地区東尾張分区インターシティ・ミーティング (IM) 開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、服部良男ガバナーはじめ、特別出席者の皆様にご臨席賜り、心より御礼申し上げますとともに、IM 開催にあたり、多くのロータリアンの方々のご出席を得ることが出来、皆様方の日頃のロータリー活動へのご理解、ご協力に感謝致しております。

「人類に奉仕するロータリー」、これは、今年度のジョン F. ジャーム RI 会長のテーマであります。

では、今、私達ロータリーの直面している問題は、どうでしょうか。

講演

テーマ 『世界のロータリー』

副題～ 奉仕、ロータリー、私の人生

講師：国際ロータリー2012-2013年度会長 田中作次氏



会員数の減少、ロータリーに対する意識の低下、真の親睦度の低下、多様性の低下、目的の曖昧さ等が、問われているように思われます。さらに、今、ロータリーが大きく変わろうと

しています。

しかし、変わり行くロータリーにあって、「変わりゆくもの、変わらぬもの（不易流行）」という言葉がありますとおり、忘れてはならないことは、「ロータリーは、人づくりのクラブであり、奉仕するロータリアンを育てるところである。」ということをごさいます。

ポール・ハリスは、ロータリーの根本精神について、「私は、ロータリーの創始者として、ロータリーは何かと問われたら、躊躇なく、寛容と答えるだろう。寛容の心とは、相手の立場に立って考えることのできる心であり、その心に基づく実践が、ロータリーの奉仕の本質である。」と述べています。

しかし、奉仕に対する解釈が大きく変化していく現状を見るにつけ、ポール・ハリスが創立し、日本人の感性に合致した真のロータリー運動は、何処へ行ってしまったのでしょうか。

そんな疑問に答えるべく、2012-2013年度国際ロータリー会長を務められた田中作次様に、「世界のロータリーと奉仕」と題して講演をいただきます。

もう一度、原点に立ち返り、皆で大いに、「ロータリーを語ろう」ではありませんか。

ところで、IMの目的は、「会員相互の親睦と面識を広め、ロータリー情報を伝える」と共に、「真のロータリアンの養成の場」であるともされています。

ロータリーに対する考え方は、ロータリアン各自、様々であり、同様に、各クラブそれぞれに色があり、良き個性があります。分区内12クラブ12色が、絶妙に融合し合い、その個性を上手く交換し合うことが、分区発展のためには、重要であり、各クラブの交流の中で、個性豊かな、東尾張分区の特色をより輝かせる一助になればと思っています。

結びに当たりまして、本日のIMが、ロータリーへの思いを新たにし、親睦を育み、友情を深める契機になれば、これに勝る喜びはございません。

本日は、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

来賓挨拶

服部良男 ガバナー



皆様こんにちは、この度は当東尾張分区においてお話しさせて頂く機会を得て大変光栄でございます。皆様の分区内の各クラブは長い年月にわたって、地域社会に奉仕し、発展されてきたことに対し心から敬意を表します。

この長い期間に於いて、世界でも多くの変化や進歩がありました。今日の世界は、当時とはまったく違う場所のようにも思われることもあります。しかし、今も昔も変わらず、ロータリーは地域社会に奉仕し、ここ日本にもしっかりと根付いて発展して参りました。

皆様のクラブは多くの優れた資質を十分に生かし、奉仕と親睦を推進して下さっていることに深く感謝申し上げます。創立から現在も活発に活動しておられる貴クラブは、これからも今まで成し遂げてこられたように、さらに発展していかれることでしょう。新会員を増やし、また、現会員の皆さまもさらに活発に奉仕し、クラブのいろいろな役目を務めるなどして、積極的に参加していただけることを願っております。

世界の環境変化と共に、クラブもその時代に合わせ現状にマッチさせるよう適切に変化させることが重要です。どのような変化を取り入れるべきかについては、主体性を持つクラブが理事会を通して検討する必要があります。これには、年会費の妥当性や例会出席の見直しも含まれます。例えば、若い世代の会員にも合うような年会費の額、朝、昼、夕方などの例会時間の再検討、家庭の主婦を含めた女性会員の増加、魅力ある例会プログラムへの再検討、あらゆる奉仕活動の見直しも含まれます。

また現在意義ある奉仕活動をクラブなどで行っているか、「ロータリーに関心を持ったのはなぜか」、「クラブが取り組める地域社会の本当のニーズは何か」、「ロータリーで何をしたいか」、など、新会員の声に耳を傾けることで、これまでに見えなかった新しいアイデアが浮かぶかもしれません。

また、国際ロータリーの長期計画を参考に、地区内では各クラブの3か年長期計画を立てておられると思います。ロータリーは常に目標を立てそれを目指して活動します。生きている、ありとあらゆるものが成長するように、組織も成長しなければ存続できません。長い歴史を持つロータリー・クラブの皆さまは、このことをよくご存知の事と思います。それぞれのクラブは設立された時と全く同じ姿ではないでしょう。幾世代にもわたり、前の世代が去り、次の世代の新しい会員が入会します。毎年役員が交代し時々とは異なったプロジェクトが行われます。しかし、重要なことは、そこに常にロータリー・クラブがあるということです。表層が様々に変化しても、ロータリーの中核、つまり奉仕への献身は変わりません。その意味ではクラブはいつの時代も同じクラブです。クラブのお陰で、皆様の地域は以前よりも良い地域社会になりました。

そして、これからも末永く、皆様のクラブと共に、この地域で人々が助け合い支え合って、発展していくことでしょう。

ロータリー・クラブのある地域社会は、クラブのない地域よりも必ず良い場所になると私は信じています。ロータリーがある地域社会の人々の人生は、必ず豊かなものになると思います。ロータリーが大きくなれば、それだけ強くなりますが、ただし、会員数を増やすことだけを目的に新会員を入れても、ロータリーは強くなりません。ただクラブに入会するのではなく、真のロータリアンとなれる人を迎え入れ、クラブでしっかりと指導してこそ、ロータリーは強くなれると思います。

私が八潮ロータリー・クラブに入会した日は、新しい人生を歩み始める第一歩となりました。人々とのつながり、奉仕を通じた満足感や達成感、そして平和を、それまでよりも深く感じるようになりました。私は、この気持ちを多くの人に伝えていきたいと考えておりますが、その方法の一つが、ロータリーへの入会をお誘いすることだと考えています。

入会見込者に伝えなければならないのは、ロータリーが素晴らしい団体であるということ、そしてロータリーへの入会によって、彼らの人生がより幸せになるということです。ここにいる私たち全員が、会員であることの素晴らしさを知っており、ロータリーを愛しています。私たちがロータリーで見つけた幸せを、多くの人々に知っていただきたいと思っております。

今から約40年以上前の1975年にロータリーへ入会した当初、それから私の人生が全く違った方向に向かっていくとは、思ってもみませんでした。ロータリーのお蔭で私の今日があり、私の生きる目的が明確になりました。それは他者や社会の為のために自分のできる範囲に於いて少しでもお役に立ち地域社会そして世界平和のためになれることです。

ロータリーでは、常に目標を立て、それを目指して活動しています。生きている、ありとあらゆるものが成長するように、組織も成長しなければ存続できません。

固有の歴史と伝統を持つクラブの皆さまは、このことをよくご存知ではないでしょうか。各クラブが設立された時と現在ではまったく同じ姿ではないでしょう。幾世代にもわたり、前の世代が去り、次の世代の会員が入会します。そして毎年、役員が交代し、年によっては違う新しいプロジェクトが実施されます。それではこれから世界を回って各地の会員から当時RI会長に対して質問を受けた内容の一部である30数項目についてQ&A方式でお話をさせていただきます。最初のQ1、だけが少し長くなりますがご容赦ください。

Q1. RI会長の役割は何ですか？

RI会長は、RIの最高役員です。「会長は、RIの第一の代弁者であり、国際大会とRI理事会の会合を主宰し、事務総長に助言し、その他の関連する任務を行います。RI会長の選ばれ方については、まず、RI会長は就任の前々年度に、「RI会長指名委員会」によって指名され、RI会長ノミネーとなります。「RI会長指名委員会」とは、RI理事指名のために設けられた世界で34のゾーンから選挙された、17人の委員によって構成されている委員会のことです。

こうして決まったRIの最高役員であるRI会長は、原則、ロータリー世界本部であるアメリカ・イリノイ州エバンストンで執務しています。執務の内容は実にさまざまなものがあります。国際ロータリーでは、ほぼ毎月、何かしらの大切な会合が定期的に行われますから、RI会長にはこれらをつかさどるといふ重責があります。さらにロータリーの設けた各賞を授けるための審議や、世界中からRI本部を訪問するロータリアンと面会したり、ハードなスケジュールの日々を過ごしています。

エバンストンで執務している以外の日は、RI会長は各国を訪問している、と言っているかもしれません。国際ロータリーを代表する者として、各国の現または

元政府指導者と会談することになっています。

ロータリーが1985年から開始したポリオ撲滅運動を通じてメリンダゲーツ財団との深い信頼関係も強化されました。さらに人道的、教育的プログラムを通じて世界理解と親善そして平和を推進しています。

定期的に行われる大切な会合として、まずRI理事会が挙げられます。クラブの管理主体も、クラブの理事会であるのと同じように、RIの管理主体も、RIの理事会で、RI会長はRI理事会の議長を務めます。理事会は、世界中の全クラブを代表する責務をもつ理事17人と、RI会長、RI会長エレクトの計19人で構成されています。

地区大会などについて本来ならばRI会長としてすべてのあらゆる会合に参加したい、という精神は、誰も同じですが、残念ながら現状は不可能です。そこで、RI会長は世界各国の地区大会には「RI会長代理」を派遣し、メッセージを寄せたりすることで、その任をなしています。そして、国際大会の主事は、会長としての仕事のハイライトとなります。

またRI会長は、そのほかの国際的会合に出席します。RI会長指名委員とRI理事指名委員を選挙するためにRI理事会が編成したクラブの集団をゾーンといいます。このロータリー・ゾーン研究会で講演を行ったり、ロータリーの行事日程表では、特別の行事のみなされているので、毎年度開催されるとは限りませんが、会長主催会議を持ちます。私がRI会長をさせて頂いた2012-13年度の11月にベルリン、1月にハワイ、5月に広島の世界の3か所で平和フォーラムをそれぞれ3日間にわたり開催し、3か所共に夫々2千人以上のご参加を得ることができました。

120万人以上の会員は、地元や海外など200以上の国や地域で、地域社会の改善を目指して自らの専門知識、情熱、エネルギーをボランティアで捧げる、事業や専門職のリーダーです。そして各地域社会のニーズに対応した奉仕活動を展開しています。特に飢餓、貧困、疾病、非識字と云った重要な問題に取り組むボランティア活動を行っています。また会員になるためにはクラブ会員の紹介がありクラブ理事会で承認されることです。

私がRI会長を務めさせて頂いた2012-2013年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」にしました。ロータリーの最優先項目は全世界でポリオを撲滅することです。ロータリーがポリオ・プラス・プログラムを発足させ1985年以来、ロータリアンの強い意志と努力によってポリオの感染数は99.9%減少し、ポリオが撲滅される日はそう遠くありません。ポリオ撲滅が達成されれば、天然痘に続いて人類史上2番目に撲滅された疾病となります。現段階では来年度すなわち2017年6月末年度にはゼロになると思われますので、その場合は2020年7月にはポリオの撲滅宣言が世界の多くのマスコミによって大々的に発表されることとなります。

さらに皆様はすでによくご存じのとおりロータリーが取り組んでいる6つの重点分野活動があり、それは次の通りです。母子の健康、水と衛生設備、疾病予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育と識字率の向上、そして経済と地域社会の発展でロータリーは、教育や青少年の為の活動を通じて平和と国際理解を築きます。例えばロータリー青少年交換は、高校生が交換留学生として海外に派遣されるプログラムで、数週間の短期交から1年間の長期交換があります。

ロータリー財団国際親善奨学金プログラムは、現在世界最大の私的資金による国際奨学金プログラムです。1学年度国際親善奨学金—1学年の間の海外留学のために授与されます。マルチ・イヤー国際親善奨学金—学位を得るための2年間の海外留学のために授与されます。文化研修のための国際親善奨学金は海外での3ヶ月または6ヶ月間の集中語学研修と文化実習のために授与されます。

また、ロータリーは、母親や子供たちが基本的な医療を利用できるよう支援しています。現在、栄養失調や不十分な医療・衛生のために亡くなる5歳未満の子どもの数は、世界で約700万人と推定されていますが、

ロータリーはこのような子供たちの命を救うために活動しています。

ある調査によると、妊産婦が産前・産後の医療や訓練された保健従事者のサービスを受けることができれば、妊産婦の死亡の80パーセントを防げることが分かっています。ロータリーは、母子の健康を向上させるための、教育、予防接種、お産キット、移動診療所を提供しています。母親たちは、子供へのHIV/エイズの感染の予防法、母乳の与え方、健康管理の方法などを学びます。

きれいな水は、人間の基本的ニーズの一つです。きれいな水は、人びと、特に子供たちが、より健康で、実りある生活を送ることを可能にします。「疾病予防と治療」では、発展途上国で多くの人びとが質の高い医療を低コストまたは無料で受けられるよう、支援活動を行っています。高額な医療費のために毎年1億人以上が貧困に陥っている中、ロータリーは主な感染症であるポリオ、HIV/エイズ、マラリアなどのために資金を提供しています。

世界には、学校教育が受けられない子供たちが6,700万人、読み書きができない15歳以上の人たちが7億7,500万人以上います。ロータリーは、世界の地域社会で、テクノロジ、教員研修、職業研修チーム、給食、廉価な教科書を提供する教育プロジェクトを支援しており、地域社会が基本的教育と識字率、教育機会における男女差、成人の識字教育を自力で改善できるよう、その能力を高めることを目標としています。世界で14億人が、1日1ドル25セント未満での生活を強いられています。ロータリーは、支援が行き届いていない地域社会において、研修、雇用の機会、小口ローンを提供することで、経済や地域社会の発展と貧困の緩和に取り組んでいます。さらには、仕事に必要な道具を寄贈したり、職業研修を行ったりすることで、貧困地域における起業家やリーダー、特に女性を応援しています。

ロータリー平和センターで学んだ平和構築専門家は、英国からオーストラリアに赴き、スーダンからの難民のコミュニティづくりを支援するとともに、紛争解決に取り組んでいます。世界で6,500万人のひとが武力紛争や迫害によって住居を失っています。武力紛争からの避難民の90パーセントが民間人で、そのうち半数は子供です。

ロータリーは奉仕プロジェクト、フェロウシップ、その他の活動を通じて紛争を予防・解決し、危険地域を逃れてきた避難民を援助する人たちに研修を提供しています。会員はまた、貧困、差別、民族間の摩擦、教育機会の不足、リソース分布の不平等などといった、紛争の構造的な原因を改善するプロジェクトを実施しています。

また世界で14億人が、1日1ドル25セント未満での生活を強いられています。ロータリーは、支援が行き届いていない地域社会において、研修、雇用の機会、小口ローンを提供することで、経済や地域社会の発展と貧困の緩和に取り組んでいます。さらには、仕事に必要な道具を寄贈したり、職業研修を行ったりすることで、貧困地域における起業家やリーダー、特に女性を応援しています。

ロータリー平和センター・プログラムは、世界に6つある平和センターで、平和研究の分野における修士号または終了証を取得する機会を毎年約100程度提供しています。現在1000人以上の元平和フェローが、世界各地の政府や組織で、重要な決定の役割を担っています。ロータリーの青少年プログラムでは、国際親善を促進するため、海外留学の機会を毎年、115カ国で8,500人の高校生に提供しています。

2. 国際ロータリー本部のあるエバンストンの住まいは：会長ノミニとエレクトの1年半は本部裏のアパート、そして会長年度は本部から徒歩で7分の場所にあるもっと良い住居です。毎年の会長は同じ住まいで生活しています。しかし2年半の内の90%は世界を廻っています。翌週以降の会長としての仕事

の準備のために本来休日である土曜と日曜日が私にとって特に多忙でした。このような理由で結果的に私の休日は1日もありませんでした。もちろん風邪や病気で休んだこともありませんでした。

3. 一人での食事の調理は：家内が最初の頃体調が良くなかったので一人でした。土曜と日曜が休日のため出張しない時は主に豆腐とライスで簡単な食事。料理ができないために殆ど満足な食事は諦めていました。
4. RI会長の選挙はどのように：立候補者として15分のカラービデオによって英語と日本語で自分の声を録音します。毎年8月にエバンストンに世界の34ゾーンから毎年17人の代表が集まりその録画を見ながら討論し1日で選挙します。毎年10人から15人の立候補者が世界から出て戦います。もちろん同じ候補者が数年続けて出ますが途中で断念する候補者も多くいます。私の選挙の時は現元RI会長を務められた台湾のグリーファン氏を含めて10人でした。
5. RI会長を目指したのはいつごろか；以前から会長に立候補するよう何回も要請を受けたが乗り気ではなく断ってきた。しかしこれ以上断りきれずに条件付きで了承。条件は一回の挑戦で落選したら再挑戦しないという約束をした。それは会長になる約3年前のこと。実際には一回で選挙されてしまいました。
6. RI理事会は：世界から17人の理事と、事務総長そして副会長が入り会長が議長となり、1年に4回開催されます
7. 以前に想像していたこととの食い違いは：それほどありませんでした
8. 世界を廻っている時の言語は；日本に滞在中以外はすべて英語のスピーチでありスピーチ以外の会話はすべての地域で通訳をつけて頂きました
9. 能力開発のポイントは：潜在能力の顕在化 目標設定高く 継続 不可能はなし
10. 日本に帰れた日数は：1年に3日くらいですが殆ど家にはいませんでした
11. もう一度訪問したい国は：スイスが一番好きな国です
12. 奥さんはどうしていたか；エバンストンでの休日は一緒にいますが会議の時は外国の奥さん達と一緒に言語には大変だったようです
13. 部屋はいくつあるか；ノミニ、エレクトの時は1部屋で会長の時は3部屋が与えられました
14. 外国でゴルフはできたか；全くできませんでした
15. 訪問国数は：2年半で70か国以上と思います
16. 健康の維持方法は：くよくよせずいつも楽しく前向きに過ごすこと
17. 外国のゾーン研究会出席は：世界21か所あり2年間ですべてを回り、それぞれの地域で講演を行いました。
18. エリートだけが会員になれると云うのは本当ですか、また誰でも会員になれるのは何故ですか；ロータリーを通じて地域社会を改善するために、意欲を持って時間と労力をささげることができる全ての専門職者や職業人をロータリーは歓迎しています。
19. 財団の寄付額の順位は；アメリカ、日本、インド、韓国、ブラジル、
20. 世界の国の会員数順位は：アメリカ、インド、日本、韓国、

- 21.日本の評判は：日本人の評価は高く、日本国の評判も良く、食事でもです
- 22.時差の問題は：最初きつかったのですが自然に慣れてきました
- 23.秘書はいるか： Rosemary さんという素晴らしい方でした。
- 24.公式の秘書はいるか：パトリシアさんという方が1年間公式秘書でした
- 25.国際大会での家族の紹介は：バンコク14人とリスボン15人が大会壇上に
- 26.国際大会の最高登録人数は：43,000人以上で大阪大会が新記録でした
- 27.私の年度の平和会議のテーマ：広島「平和はあなたから始まる」ベルリン「国境のない平和」ホノルル「平和にいたる緑の道」其々2千人以上の参加、夫々3日間でした。
- 28.自家用車は：一台車が与えられましたが私は一回も運転しませんでした
- 29.病気で休んだことはあるか：一日も休むことはありませんでした
- 30.財団管理委員には：RI会長を終えた後1年間は休みでその後4年間は財団管理委員として務め、最後の4年目はロータリー財団管理委員長になるのが通例ですが私の場合は家庭の事情で2年で変わっていただきました。私はそれ以前にも財団管理委員を4年間勤めましたので合計6年間と止めやことになります。
- 31.困ったことはあったか：それほど困ったり、苦しいようなこともなく毎日楽しく過ごせました
- 32.ロータリーはどのような若い世代と協力できるでしょうか：今日の若者は、ボランティアに対して強い関心を抱いています。若者によるボランティアを促進すると同時に、若者のリーダーシップと専門知識や技能の向上をさせる2つのプログラムを提供しています。一つは12-18歳の青少年を対象とするインターアクトクラブで、ロータリー・クラブがその設立を支援します。もう一つは18-30歳の若者を対象とするローターアクトです。同じくロータリー・クラブがその設立を支援します。ロータリーの青少年交換プログラムでは、2013-14年度は71カ国の8,000人以上の高校生が海外での生活を経験し、国際的な親善と友好を築きました。
- 33.ロータリーは米国を中心とする団体ですか：ロータリーは1905年にシカゴで創設され、米国では7,720のロータリー・クラブと男女合わせて約328千人の会員が活動しています。これらの数は確かに世界で最も大きい数字となっています。しかし合計120万以上のロータリー会員の3分の2以上は米国以外の国で活動しています。会員が世界で2番目に多いインドでは、3,500近くのクラブと132千人の会員が活動しています。次に日本やブラジルにはそれぞれ2,270のクラブがあります。イスラエルにも60のクラブがあります。
- 34.イスラム国家にもロータリー・クラブがありますか：イスラム教信者大多数を占める国家の中では、トルコのクラブ数が最も多く数年前に225クラブがあり、またトルコの会員数は5,700人以上でした。2番目のパキスタンでは、159のクラブとおよそ2,800人の会員が活動していました。マレーシアでは116のクラブ、インドネシアでは112クラブ、エジプトは78クラブとなっていました。その他にアフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アゼルバイジャン、バーレーン、ヨルダン、モロッコ、そし

てアラブ首長国連邦にもクラブがあります。2010年パレスチナにもロータリー・クラブが設立されました。

- 35.女性がロータリーで活動できるようになるまで、長い時間がかかったのは何故でしょうか：今日、女性会員はロータリーの重要な部分を占めており、その数も拡大しつつあります。ロータリー・クラブは地域におけるビジネスの状況を反映しており、より多くの女性がビジネスリーダーとして社会で活躍するようになれば、それだけロータリーの女性会員も増えることとなります。今日、何千ものクラブで女性がクラブ会長になっています。またロータリーの理事会や管理委員会でも女性が入ってきました。あと数年で女性のRI会長が実現すると思われる。ロータリーを通じて女性が世界の地域社会に変化をもたらしていると云うことこそ重要な意味があるのだと思います。
36. 2012-13年度のテーマを「奉仕を通じて平和」に決めた理由は：どんな些細なことでも、人を助けることが、いずれは平和につながると思うようになりました。「平和」というのは、よく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻繁に口にしている言葉です。しかし、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。

一番簡単なのは、「平和」ではない状態がどのようなのかを考えることでしょうか。そう考えれば、平和とは、戦争や暴力、飢餓、苦しみ、貧困を恐れることのない状態です。また逆に、「平和」それ自体が、どのような可能性を秘めているのかで、定義することもできます。そういう意味では、「平和」とは、思想の自由、選択の自由であると言えるでしょう。また、安心できる未来、安定した社会であるとも言えるでしょう。また、もっと抽象的なレベルでは、「平和」とは、幸福感や、心の平穏であるとも言えます。このように、「平和」が何を意味するかは、人によって違います。どの定義が正しいとか、間違っているとかではなく、自分にとって「平和」が意味すること、それが平和です。どのような意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができます。ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに答えています。また、友情、人と人とのつながり、思いやりといった、心のニーズにも応えることができます。さらに、国や民族間の友情や、寛容の精神を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」、つまり、互いを理解する心を養うことができます。

私は、「超私の奉仕」は単なる標語ではないと考えております。それは、誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする、生き方を示していると思います。ロータリアンは、自分よりも人のニーズに耳を傾け、自分だけでなく、社会全体のためを考えます。これは、平和への基本です。先ほど申し上げましたように、私は、2012-2013年度のロータリーのテーマを、「奉仕を通じて平和を」といたしました。これは、「平和」をどのように定義するにしても、奉仕を通じて、平和をもっと現実に近づけることができると考えるからです。

ほかの人のニーズが、自分のニーズよりも大切だと思え、みんなのためになる共通の目標に向かって力を合わせられるようになれば、世界に対する見方、人との接し方、優先順位など、すべてが一変するでしょう。私は1939年に生まれました。今でも、終戦日の玉音放送を聞いたときのことを覚えています。天皇陛下のお言葉はとても難しく、まだ幼かった私は、話の内容がよく理解できませんでした。しかし、天皇陛下のお言葉の後、ラジオのアナウンサーが、日本は降伏し、戦争が終了と告げました。

